

委員会のうづき

総務 教育

常任委員会

大方中学校 建替え検討を



委員長 奥本 哲也

●令和5年度

一般会計決算

建て替えの時期が
来たのでは

■大方中学校外壁・屋根
軒天改修工事
2326万円

2326万円

会計年度任用職員
人件費大丈夫か

■人事管理

8460万円

Q 昨年度より金額が多
いと思うがどうか。

今後の負担金

見直し必要では

■くろしお鉄道経営基金
造成負担金
1969万円

1969万円

Q 負担金の見直しが必
要に思うが。

事前の相談説明
の充実を

■弁護士無料相談弁護士
謝金
17万円

17万円

Q 相談に行ってもあま
り理解できないとの声が
あるが。

特別会計決算

利用料金を下げ、
加入促進を

●令和5年度情報セン
ター事業決算

Q テレビの視聴契約は
町の54%が加入している。
現在1100円の料金
だが、利用料金を下げて
加入促進できないか。

A 今のところは、利用
料金の変更は考えていな
い。

当委員会に付託された
議案、決算の認定5件、
条例改正1件、補正予算
3件、辺地に係る計画関
係2件は全会一致で認定
承認、可決すべきものと
なった。

Q 令和4年度も工事を
行っているが、5年度も
かなりの工事が発生し
ているが。

A 学校校舎も50年以上
経過している。鉄筋が爆
裂してコンクリートが剥
がれ落ちている。これか
ら建替えも検討する必要
がある。



老朽化が目立ってきた校舎（令和6年10月）

移行までの対応を
慎重に

■幡多広域市町村圏事務
組合租税債権管理機構負
担金
382万円

382万円

Q 債権管理機構に移行

共同研究の
メリットは

■地区防災計画策定に係
る共同研究
421万円

421万円

Q 共同研究とはどのよ
うな研究か。

するまでに手立てはない
のか。

A 毎月の督促を送付し、
年間6回の催告通知を
送っても何も繋がらない
など、アクションの無い
人を債権管理機構に回し
ている。

A 地区防災計画に関す
る課題を共有し、対等の
立場で共助の質を高めて
いる。平時から各地区の
課題解決をしようとした
際、アドバイザ的な役
割を担ってくれている。

条例改正

補正予算

**借用手続き、
トラブルは無いか**

●学校開放に係る体育施設の照明施設等使用料条例及び町立ふれあいセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

Q 借用の手続き等が不便だという声は無いか。支払い等スムーズに行われているか。

A 今までの紙での受付はしていない。デジタルへの移行ということでスマホからのデジタル申請となっている。

年配の方たちからややこしいという声があるが、電話にて説明をしている。どうしても理解できない方には委員会まで来てもらい説明をしている。
支払いに関しては、使った実績にて、支払い票を郵送している。

**物価高騰中、
貸付金額増額を**

●令和6年度宮川奨学資金特別会計補正予算

Q 基金に余裕があるなら以前からの声で、貸付金額を増額できないか。

A 今年度に委員会を開催し、委員の方々より意見を聞き対応していく。

辺地に係る計画

町民の道、地元の道の安全対策は必要

●鈴・熊野浦に係る総合整備計画策定

411万円

Q 411万円で工事が完了はできないと思うが、以前の回答で勾配がきつく工事ができないのとどこだったか。

A 勾配を直す工事では

ない。今現在の道幅2・8メートルだった0・7キロメートルの区間を5メートルに拡幅する工事で8月20日に完了している。



町道成又熊野浦線の拡幅工事済み箇所

(令和6年9月)

産業 建設 厚生

常任委員会

児童手当 所得制限撤廃 多子加算3万円



はまむら みか
委員長 濱村 美香

3子には3万円が扶助される。

**新型コロナウイルス
接種に助成金**

■予防費 4479万円

予防接種に係る委託料や割引料となっている。

65歳以上の方、64歳までの重症化リスクの高い方は一部補助。生活保護の方は全額補助の方向で検討している。

Q 集団接種はないか。自己負担額はいくらになるか。

A 集団接種の計画はなく、医療機関での個別接種としている。

自己負担額は、3300円程度を想定している。

●令和6年度
一般会計補正予算
10月から
児童手当拡充へ

■児童措置費

2289万円

令和6年10月から児童手当の拡充が図られるための補正。所得制限の撤廃や、多子加算として第

【専決処分の承認】
●令和6年度水道事業特別会計補正予算

■建設改良費 4千万円

浮鞭配水管災害復旧詳細設計費として400万円、災害復旧工事に3600万円を計上。



配水管災害復旧現場
(令和6年10月6日、
ヤモウジ団地)

●令和5年度 一般会計決算

有害鳥獣捕獲

1208頭分

■林業振興費報償費

1224万円

有害鳥獣捕獲に対する報奨金で、イノシシ、シカ、ハクビシン、カラス、タヌキ等1208頭分が昨年度と比較すると、716頭の減少。

町産材利用の新築6件該当

■町産材利用促進事業費補助金 187万円

令和5年度からの新規事業で、町産の木材利用促進を目的とし、町内の事業所により建築した住宅に対して1戸当たり100万円を上限として補助を行ったもの。6件のうち、4件は繰越事業に。

明神地区

避難路完成

■佐賀地区漁業集落環境整備工事 2250万円
佐賀新港、明神水産横

の新設町道で、城山広場に通じる避難路が完成した。延長は40メートル。



完成した避難路（明神地区）

避難広場に雨除けシェルター

■佐賀地区漁業集落環境整備工事（繰越明許分） 2645万円

明神地区城山避難広場と大和田地区の避難広場に雨除けシェルター新設。



1億4500万円の経済効果あり

■スポーツツーリズム誘客促進事業委託 2344万円

■スポーツを核にしたまちの賑わい創出事業委託 1937万円

Q スポーツ合宿の経済効果は。

A 昨年度、1万5043人泊で、1億4500万円の効果があつた。

パトロールにより 遊休農地調査

■農業委員会費 1661万円

農業委員会に係る委員や担当職員の報酬のほか、事務的な経費にあたる。農業委員14名、農地利用適正化推進委員7名が現在活動中。

Q 遊休農地の意向調査は行われているか。

A 昨年度は新たな耕作放棄地は発見されなかったため、意向調査を実施していない。並行して、5～10年後の意向を地図に落とし込む地域計画の策定をしている。令和5年度は町内全域で話し合いを行い、令和6年度は、地権者と耕作者にアンケートを取って、必要な対策をとることとなっている。

福祉事業委託1600万円の不用額

■社会総務費委託料 1億4776万円

あつたかふれあいセンター事業委託や多機関協働事業委託、権利擁護センター事業委託などに充てられた。1600万円余りの不用額に対して、委員より、町の福祉計画などに沿って、委託先との打ち合わせを入念に行い、必要な部分に必要な予算が付くようにとの意見があつた。人材確保において、募集期間の工夫や賃金等課題の整理が必要ではと付け加えられた。

公的施設に太陽光パネル設置

■脱炭素対策費

3億4541万円

新電力会社への交付金で、その交付金を活用し、農業公社のヒートポンプ、南部保育所とくじら保育所、保健福祉センターに太陽光パネルの設置等を行ったもの。



屋根に設置された太陽光パネル（南部保育所）

●令和5年度黒潮町国民健康保険事業特別会計決算の認定
保険給付費が1億9千万円余り増額となった。

Q その要因はなにか。

A 74歳までの方が癌に罹患し、高額医療となるケースが多かった。早期発見が住民のためであり、財政面への負担も少ないため、がん検診の受診率向上のための働きかけを引き続き行う。